

栄養学科 卒業生の就職先企業を対象としたアンケート結果について

1. アンケートの目的

栄養学科では、学修成果（到達目標）として「基礎力」、「実践力」、「人間関係力」、「生涯学習力」、「地域理解力」の五つの項目を挙げている。この学修成果の各項目について、その到達状況を把握する。

2. 方法

2-1 アンケート調査項目

アンケート調査項目は、学修成果（到達目標）の各項目とし、できるだけ直接的な設問文とした（表-1）。

設問は、学修成果の基礎力 2 項目、実践力 3 項目、人間関係力 3 項目、生涯学習力 2 項目、地域理解力 1 項目の計 11 項目と企業からの要望（身につけてきてほしいこと、気づいたこと）を自由記載欄として回答を求めた。

2-2 調査対象

調査対象は、令和 3 年度（令和 4 年 3 月）卒業生の就職先企業で、学生総合支援センターで選択した 10 社とした。

2-3 調査期間及び方法

令和 5 年 2 月、アンケート依頼文書は学科で作成し、各企業総務・人事担当部署宛てとし、送付を学生総合支援センターへ依頼した。また、アンケートへの回答期間は令和 5 年 3 月末までの約 1 か月間とした。回答は、依頼文書で案内したマイクロソフトフォームスへの自記式回答とした。

表-1 アンケート調査項目

仙台青葉学院短期大学栄養学科卒業生に関するアンケート

貴社で雇用された本学栄養学科卒業生についてお尋ねします。
 本学卒業生（令和4年4月就職）の能力・資質について、現時点での評価をお願い致します。
 下記の4段階評価より一つ選択し、該当する番号に○を記入願います。

選択4段階
 (4) とてもそう思う (3) ややそう思う (2) あまりそう思わない (1) 全くそう思わない

項目	評価			
	4	3	2	1
1 一般的な教養と知識が身についている	4	3	2	1
2 栄養士に必要な基礎知識が身についている	4	3	2	1
3 責任をもって仕事を行うことができる	4	3	2	1
4 基本的な調理技術が身についている	4	3	2	1
5 基本的な衛生管理を行うことができる	4	3	2	1
6 基本的な礼儀作法が身についている	4	3	2	1
7 コミュニケーション能力がある	4	3	2	1
8 他者と協力して仕事を行うことができる	4	3	2	1
9 知識や技術の習得に積極的である	4	3	2	1
10 自分で問題点や課題を見つける事ができる	4	3	2	1
11 栄養士の立場で、職場や地域社会に関わっている	4	3	2	1
12 要望（身につけて来て欲しい事や気づいた事）などございましたら、こちらにご記入下さい （自由記述）				

貴社名 _____

回答された方の部署名・役職名 _____

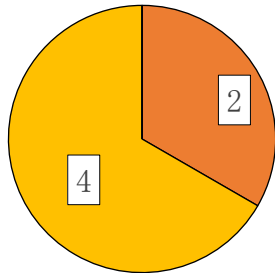
ご芳名 _____

3. 結果

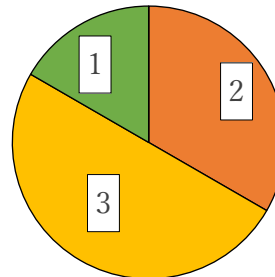
調査対象 10 社のうち、6 社から回答が得られた。アンケートの結果については、設問毎の単純集計を行った。アンケート各項目の結果を図 2-1～11 に、自由記載欄の結果を図 3-1 に示す。

2-1. 一般的な教養と知識が身についている

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

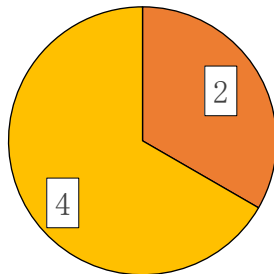


2-2. 栄養士に必要な基礎知識が身についている

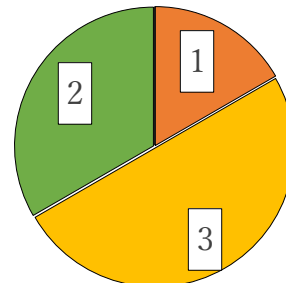


2-3. 責任をもって仕事を行うことができる

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

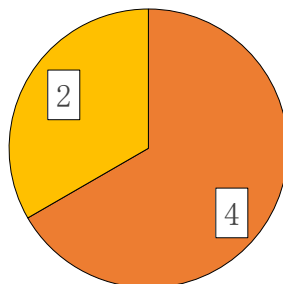


2-4. 基本的な調理技術が身についている

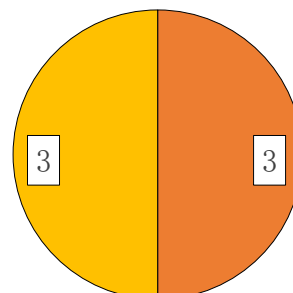


2-5. 基本的な衛生管理を行うことができる

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

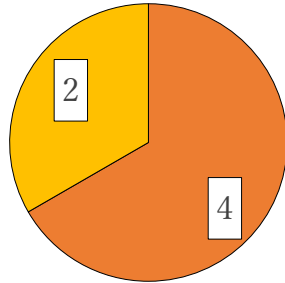


2-6. 基本的な礼儀作法が身についている

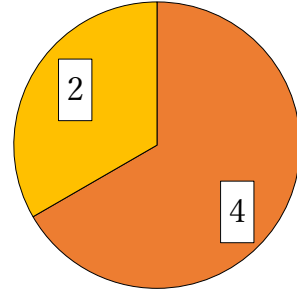


2-7. コミュニケーション能力がある

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

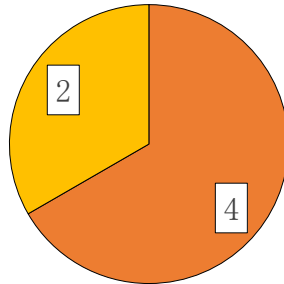


2-8. 他者と協力して仕事を行うことができる

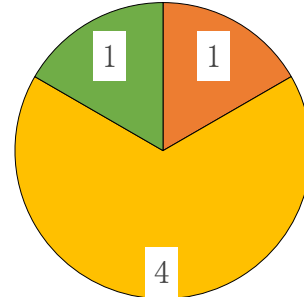


2-9. 知識や技術の習得に積極的である

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない



2-10. 自分で問題点や課題を見つけることができる



2-11. 栄養士の立場で、職場や地域社会に関わっている

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

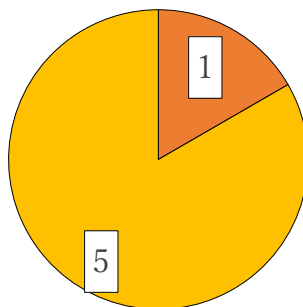


図 3-1 自由記載欄の記述

- ・入社していただいた卒業生は、いずれも職場内でのコミュニケーション能力が優れており、先輩や同僚とも円滑に業務をこなしていただいております。ありがとうございます。在校生の皆さんもコミュニケーションやチャレンジ精神を忘れずに取り組んでいただきたいと思います。
- ・コミュニケーション能力・調理技術
- ・日頃からお世話になっております。貴校からの卒業生は明るくて、元気の印象があります。今後も引き続きよろしく願いいたします。
- ・学生のうちにいろいろなことに関心を持つことをして欲しいと思います。気になることや研究は自分で調べて追及したり他の人に相談したり、また視点を変えてみたり、振り返ってみて検証することも経験して欲しいです。失敗を恐れずぜひチャレンジすることをして欲しいと思います。また仕事は同年代の人とだけでしませんが、年下も年上も含め、いろいろな世代とコミュニケーションをとるスキルがあれば自分に自信がつくと思います。
- ・基本的な調理技術の習得。（「調理が苦手、調理実習で、洗い物係でした。」という方が見受けられる。）
- ・貴校の学生さんを何人か採用させて頂いておりますが、非常に評判が良い方が多いです。今後とも積極的に採用していきたいと考えておりますので、ぜひよろしくお願い致します。身につけてほしいことをあげるとするならば、社会人としての自覚(お金を払って学校に行っていた立場から働いてお金をもらう立場になること)を学生時代に学校で教えてきていただきたいです。また、基本的な事ではありますが最低限返事や挨拶がきちんとできるようになって欲しいです。今後ともよろしくお願い致します。

4. 教育内容への反映

アンケートの回答は、「とてもそう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」の4項目からの選択とし、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を肯定的回答、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を否定的回答として評価した。

すべての設問項目で、肯定的な回答が優位であった。否定的な回答は、「【基礎力】栄養士に必要な基礎知識が身についている。」、「【実践力】基本的な調理技術が身についている。」、「【生涯学習力】自分で問題点や課題を見つけることができる」の3項目で認められた。また、自由記載欄においても調理技術の習得やコミュニケーション能力等の指摘がなされている。基礎力、実践力の評価については、就職先の求める食品の調達、保存管理や調理技術等のスキルの問題で、卒業生等からの情報などからも、過去から認識されていた課題である。

一方、生涯学習力については、入学生の学力低下と相まって今後深刻化が懸念される課題である。限られた情報ではあるが、学生の就職先からのニーズとして認識し、新たな教材資料の提供や教授方法等の改善を継続的に行う。また、その効果については就職先企業等を含む外部の意見を参考とした評価が必要と考える。

謝 辞

本調査にご協力くださいました、総務・人事担当者様をはじめ各企業の関係者様に深謝いたします。いただいた意見やフィードバックは、栄養学科が行っている学生教育の改善、成長に資する貴重な手助けとなります。今後も頂いた意見を真摯に受け止め、より良い修学成果の達成に努力してまいります。

再度アンケートへの協力に心から感謝申し上げます。

仙台青葉学院短期大学 栄養学科